

海事人材確保促進事業に協力 ～愛媛県委託事業「お仕事フェスタ 2018」～

日本船主協会では2008年7月より「人材確保タスクフォース(TF)」を結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

今般、その活動の一環として、愛媛県より協力要請を受け、海運人材確保促進事業「お仕事フェスタ2018」に協力を行い、船員の仕事の魅力や海運業務についてPRを行いました。



会場の様子

愛媛県後援の「お仕事フェスタ2018」(主催:河原学園)は、主に小・中・高校生とその保護者を対象に、様々な職種に触れ、将来の仕事について考えてもらうことを目的に開催されているイベントです。今回が9回目の開催となった当イベントですが、日本船主協会は4回目の協力要請を受けました。

今年度は、3月3日(土)・4日(日)10時～16時、アイテムえひめにて開催されました。当イベントには、約120種類の職種のプロが集まり、約110種の職業ブースと約40種類の体験ブースが設置され、2日間で7052名が来場しました。

当協会の職業体験・展示ブースには、2日間で約300名が訪れ、約120名がブース内に設置した操船シミュレータで来島海峡周辺の操船を体験しました。また、子ども用船長制服やパネルの展示も行い、訪れた学生や保護者の質問にもそれぞれ対応しました。

ブースには来場者が途切れることなく、訪れた学生は船を操縦するという貴重な機会を非常に楽しんでいました。その中には「将来は船で働きたい」と言う学生がいたのが印象的でした。

この取り組みは高い評価を受けており、今後も優秀な日本人船員確保のための広報活動の一環として、このような要請に幅広く応えていきたいと考えています。



操船シミュレータを体験する学生の様子



日本船主協会体験・展示ブースの様子